

造船関連産業

最近の動き

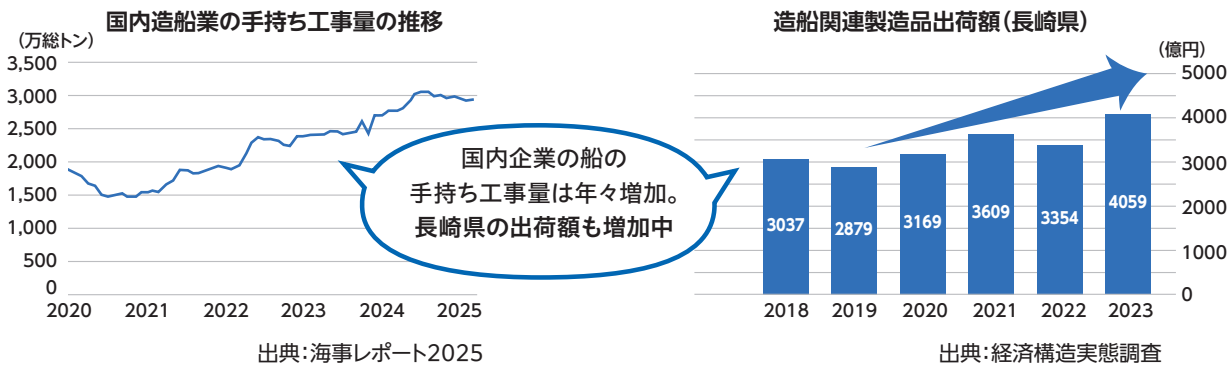
◎世界中で環境対応船の需要が高まる！

国際海事機関(IMO)で「2050年頃までに国際海運からの温室効果ガス(GHG)排出ゼロ」の目標が合意され、世界中でカーボンニュートラル※の動きが加速し、環境対応船の需要が高まっています。

※カーボンニュートラル:温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、温室効果ガスの排出量を実質ゼロに抑えること

◎国内では造船業の建造能力倍増を目指す！

国において造船を成長分野の一つとして位置付け、日本の建造能力倍増に向けた支援策強化が検討されており、官民一体で造船業のさらなる成長に向けた取り組みが進められています。



県の取り組み

県内では、大手造船所と約150社の中小企業がサプライチェーン※を形成し、地域の経済や雇用を支えています。

県では、長崎県が日本の造船業をけん引する拠点となるよう、サプライチェーンの強靱化に向け、市場が拡大する造船関連産業のさらなる需要の獲得を支援しています。

※サプライチェーン:原材料や部品の調達から製造・流通に至るまでの一連の流れを組むネットワーク

企業への支援

新たな県外需要の獲得を図るため、設備導入などを支援しています。



支援を受けた企業の声

石田エンジニアリング株式会社



配管溶接の様子
(提供:石田エンジニアリング(株))

当社は県内企業と連携し、造船における配管の設計から加工、取り付けまでを一貫して手掛けています。
環境対応船に使用されるLNG(液化天然ガス)などの燃料は、極低温で管理する必要があり、従来の重油燃料船とは異なる新たな配管の製造技術が求められます。こうした変化への対応は、造船現場にとって大きな挑戦です。県の支援を受けながら設備投資を進め、生産体制を強化し、新たな需要の獲得を目指します。

造船業の振興に関する国への要望

国内での動きを受け、昨年10月30日に国土交通省、経済産業省、防衛省に対し造船業の振興に関する要望を行いました。長崎県のサプライチェーンで培った高い技術力が国策に寄与するということを示し、設備投資や人材の確保・育成に対する支援の充実・強化を要望しました。

県政特集

長崎県の未来を支える海洋産業

長崎県では、「貨物船」「フェリー」「漁船」「作業船」「特殊船」「艦艇」などのさまざまな船が、古くは江戸時代から現在に至るまで数多く造られています。

また世界的な洋上風力発電の需要の高まりに合わせて、造船業で培ってきた技術を生かし、洋上風力発電分野への参入に取り組むなど、長崎県では海に関するものづくりが盛んになってきています。

今回は、今後ますます成長が期待される造船関連産業・洋上風力関連産業についてご紹介します。



提供:(株)大島造船所



県内製造業の状況

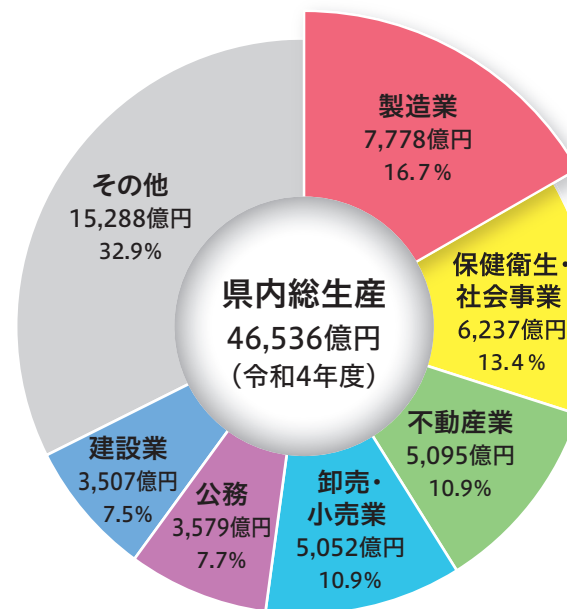
長崎県は製造業(ものづくり)が盛んで、中でも造船を含む輸送用機械器具の製造品出荷額の割合が高い状況です。

県内総生産

◎県内総生産※¹の内訳を見てみると…

製造業が7,778億円で全産業の16.7%を占めています。

※1 国のGDPに当たるもので、県内の生産活動により新たに付加された価値(付加価値)の合計



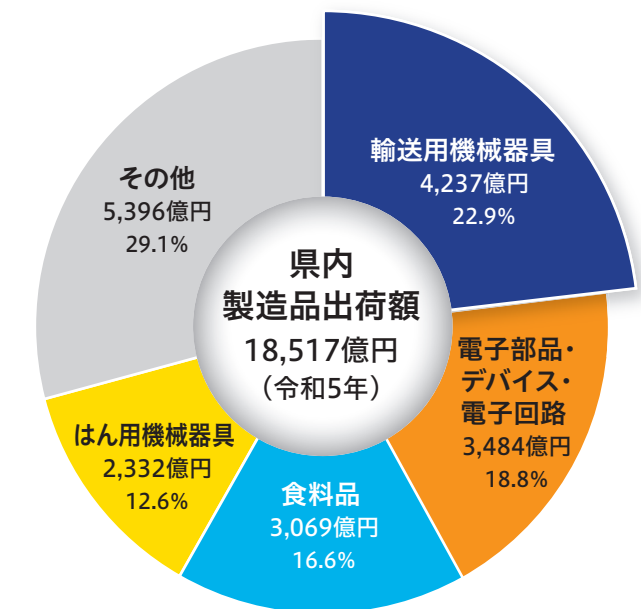
出典:令和4年度長崎県県民経済計算

製造品出荷額

◎県内の製造品出荷額※²の内訳を見てみると…

造船業を主とする「輸送用機械器具」が22.9%を占めています。

※2 企業が所有する原材料によって製造されたものの出荷額の合計



出典:2024年経済構造実態調査

※端数処理の関係で、内訳の和が総額と合わないことがあります

海洋産業の今後は

人材の確保・育成

県内に根付いている造船関連産業と、これから成長が見込まれる洋上風力関連産業。これからの人材を確保・育成するため、県では今後もさまざまな取り組みを進めます。

造船関連産業

造船振興連絡会議

県下全域を対象とする 会議の設立は全国初！

昨年6月に、造船業のさらなる振興のため、産学官が連携した会議を設立しました。

造船業の魅力発信や人材の確保・育成に、県内の造船企業・大学・工業高校・国・県・関係市の各団体が連携して取り組みます。

小学生の造船所見学会

県内造船所・関係市と連携し、 小学生の造船所見学会を実施

子どもの頃から、ものづくりに親しむ環境をつくっていくため、造船所の見学会を昨年度から実施。参加した子どもたちは目を輝かせていました。



見学会の様子

洋上風力関連産業



技術者としての専門性に加えて、海の上で安全かつ正確に作業ができる人材の確保が急務です。

県では、洋上建設・保守作業員を育成する施設※において、県内企業の社員の受講料を一部負担するなど、支援に取り組んでいます。

※長崎海洋産業クラスター形成推進協議会が設置・運営する「長崎海洋アカデミートレーニング（長崎市伊王島町）」

長崎県が掲げる目標

県では、時代の変化に対応する力強い産業を創出するために、今後も成長が見込まれる海洋産業において、2030年度までに達成する高い目標を掲げています。

造船関連産業

過去最高の売上高へ！ （年間5,500億円超）



洋上風力関連産業

浮体式に関する世界初の サプライチェーン構築！

全国をリードしていけるごと
挑戦していくばい！

問合せ（造船関連）県の企業振興課 ☎ 095-895-2634 （洋上風力関連）県の新エネルギー推進室 ☎ 095-895-2695
広報テレビ番組「みじかなナガサキ」（民放3局）でも今回の特集を2月に放送します。ぜひご覧ください。

洋上風力関連産業

洋上風力発電は世界的に導入が拡大しており、国内では、2040年までに最大で現在の約10倍の規模を目指して、全国各地で導入が進められています。

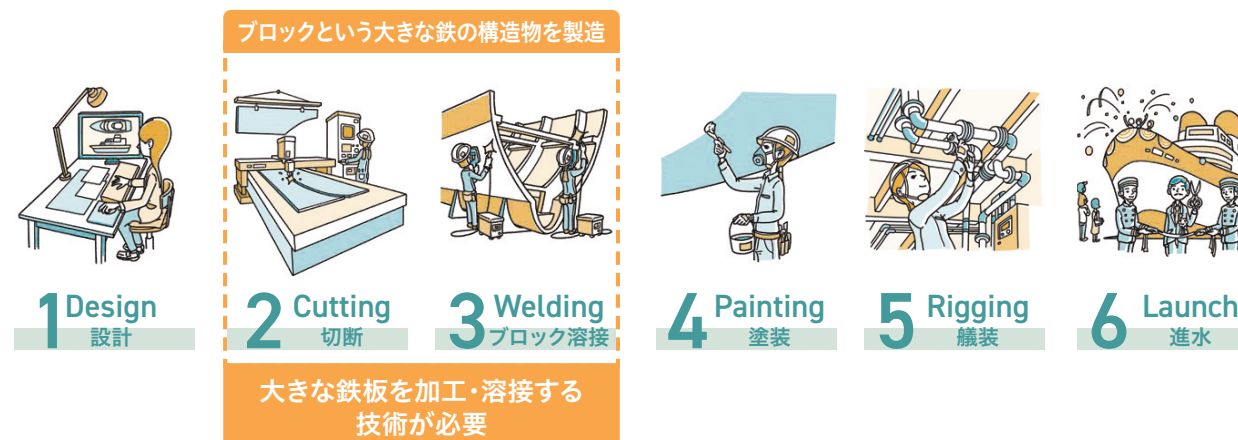
中でも長崎県は広大で風況の良い海域を持ち、洋上風力発電の適地です。今年1月には、五島市沖において風車を洋上に浮かべる「浮体式」で、国内初となる大規模洋上風力発電所が稼働しました。



五島市沖の浮体式洋上風力発電
（提供：戸田建設（株））

県内企業が造船で培った人材や技術力が生きる

船が完成するまでには多くの工程があり、設計、金属加工、溶接、塗装などさまざまな技術が必要です。



（一社）日本造船協力事業者団体連合会「造船しごと紹介本 vol.1」より

特に**大型の鉄板の加工**や**溶接**などの技術が洋上風力関連産業に活用できる！

加えて… 造船でのサプライチェーンを活用できる！

長崎県の強みを生かして、浮体式に関する 世界初の量産サプライチェーン構築を目指しています！

県の取り組み

洋上風力関連産業は、建設から運転開始後の保守・点検まで、幅広い分野の企業が関わるため、多くの県内企業の参入が期待されます。

県では、洋上風力関連産業を基幹産業として成長させるため、県内企業と国内外の洋上風力関連企業とのマッチング支援や設備投資に対する支援などを行い、県内企業による国内外の需要獲得などを後押ししています。



新工場イメージ図
（提供：三菱長崎機工（株））



支援を受けた企業の声

三菱長崎機工株式会社

これまで、五島市沖や北九州市沖で、風車の基礎にあたる部分の工事などを手掛け、現在、長崎市の神ノ島工業団地に新工場を建設中です。2027年の稼働を目標にしています。

県の支援を受けながら、国内外の需要獲得や販路拡大に向けた設備投資などに取り組んでおり、今後は、県内企業と連携してサプライチェーンの構築を進めます。